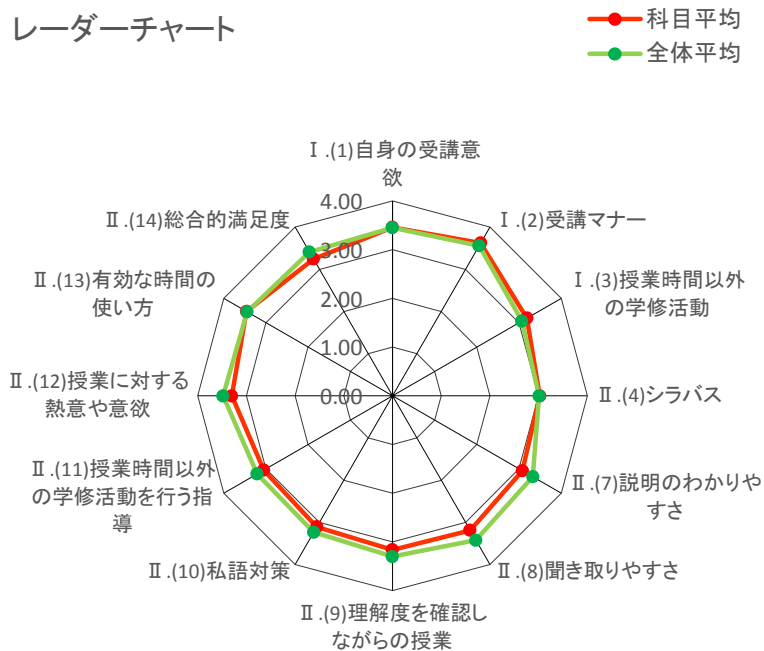
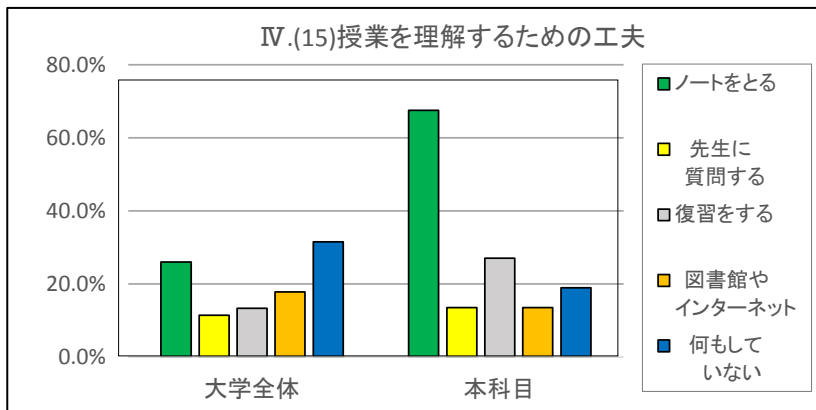


レーダーチャート



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
授業を理解するための工夫	67.6%	13.5%	27.0%	13.5%	18.9%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.46	3.45
	I.(2)	3.62	3.56
	I.(3)	3.19	3.07
講義内容・方法	II.(4)	3.03	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.08	3.33
	II.(8)	3.19	3.42
	II.(9)	3.16	3.30
	II.(10)	3.11	3.23
	II.(11)	3.05	3.21
	II.(12)	3.30	3.48
	II.(13)	3.46	3.45
満足度	II.(14)	3.24	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.42	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.17	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.24	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	21106
科目名	英会話Ⅱ
教員名	熊田 岐子

①授業計画の達成度について

本授業は、シラバス通り、「英会話Ⅰ」で学習した文法・語彙を発展させながら、相手と自分の背景の違いを認識し、どのような意図で相手が言葉を発し、それに自分がどのように答えるのかという他者との関係を意識した英語コミュニケーション能力の向上を目指した。活発にコミュニケーションをとるクラスだったため、コミュニケーション能力の向上は達成したと考える。しかしながら、TAが着任できなかったクラスであり、人数も多いため、細かな指導が難しいクラスであった。

②授業の進め方について

毎回めあてを提示し、前回内容の復習から始めて、該当回のトピックと文法事項の学習をできるだけ会話を含めたタスクによって達成できるよう工夫した。CALL機能を活用して、ペアワークやグループワークを行った。上記にも書いたが、細やかな指導が難しいことが、授業の進め方にも影響した。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

本授業は、英文法とコミュニケーション能力の育成が目標である。(7)の説明のわかりやすさ3.08を見ると、詳細な英文法への説明を求めていたと読み取れる。受講生が授業回の英文法が入った文章を使うことを念頭に授業を受けられるように配慮したい。